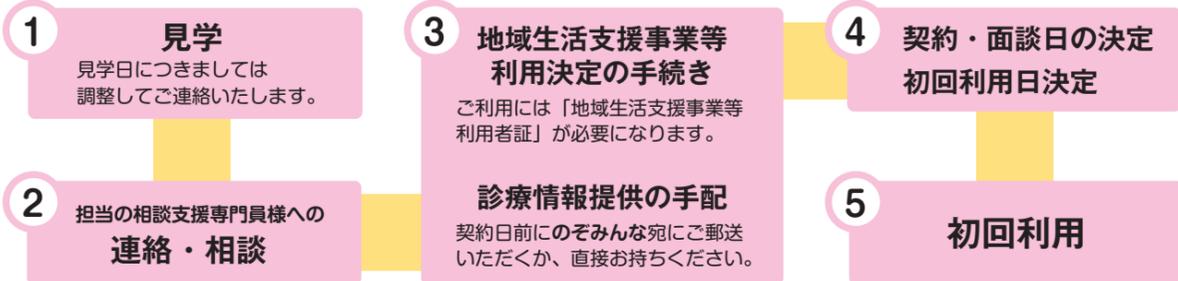


## ☆重症障がい児者医療的ケア支援事業とは……

医療ケアを必要とする障がいをお持ちの方の日中活動を提供するサービスです。日中一時支援・重症障がい児者医療的ケアを利用するには市町村の申請の元利用者証が必要となります。

### ご利用までの流れ



## 障がい児者支援

坂入 美穂子

今回、障害児者支援「のぞみんな」開設にあたり喀痰・吸引研修、指導看護師養成研修に参加させていただきました。目的として ①痰の吸引、経管栄養などの医療的ケアを必要とする重い障害を持つ子どもや障害者が地域で当たり前の生活を送れるよう必要なケアを習得すること。②医療的ケアを実践できる介護職員等の支援者の実地研修において指導、評価する看護師を養成することの2つでした。基本研修、特別カリキュラム合わせて8時間の有意義な研修でした。約10年間重度障害児者の看護に携わった経験のある私ですが、忘れていた事1つ1つ思い出すことの機会となり進化されていることも多くなすくばかりでした。地域医療の重要性、大切さを更に考えさせられました。今回の研修で学んだこと、得た資格を基に「のぞみ」「のぞみんな」において活用できることを望んでいます。

## お知らせ

六美南部地区  
民生委員より

### 地域の民生委員を ご存じですか？

民生委員は福祉の事を知っている  
ご近所さんです。

皆さんの相談の内容で各専門機関  
につなぎ相談者の心配事が減るよう  
に解決に向けてのお手伝いをします。  
「みんなのハウス」でのお茶会や公民  
館でのサロン活動などもやっています。

どうぞお声かけください。

(民生委員 工藤・淀川)

## だいじょぶにゃん通信

### 編集後記

久しぶりに研修に参加してきました。午前の座学と午後の演習  
でみっちり8時間。患者役になったり指導者になったりの演習で  
は、看護学生に戻ったみたいでそれなりに楽しかったです。何事  
も初心忘るべからず。学ぶ姿勢を持ち続ける事の大切さ、始まる  
前の緊張感と終わった後の「イヤー、無事に終わってよかったよ  
かった」という和やかな感じのギャップが何とも言えませんでした。  
これぞカ・イ・カ・ン。と言っておきます。



発行 特定非営利活動法人のぞみ会  
六美南部地区の地域福祉を考える会  
〒321-0216 栃木県壬生町壬生丁 145-10  
TEL 0282-82-7204 FAX 0282-82-7254  
発行人 渡辺 みゆき  
編集 だいじょぶにゃん通信 編集部 奥山 久美子  
協力 六美南部地区自治会  
のぞみホームを応援する会  
URL <http://www.nozomi-h.org>  
MAIL [nozomi-h@guitar.ocn.ne.jp](mailto:nozomi-h@guitar.ocn.ne.jp)

住み慣れた地域でその人らしくいられることの大切さ。

# だいじょぶにゃん通信

2021年10月1日 第8号 [年2回 春・秋 発行]

のぞみホームは1993年7月1日この地に生まれ28歳になりました！

この春の終わりとろ看取り介護をしました。

ホームでの看取りは「蔵の街診療所」が往診に来て  
くれるようになった2000年から何度か経験していま  
すが、それでもいつもの場所にいるべき人の姿がない  
という寂しさに途方に暮れ、しばらくやる気スイッチ  
が入らず、私のやる気スイッチはどこですか…。どう  
やったらやる気スイッチが入りますか…。という鬱々  
とした状態がしばらくの間続きました。

スイッチを入れるために何をしたらいいのか。

ヨボヨボの飼猫と寝ること、好きなものを食べる  
こと、自然にふれること、「もう私はダメです」と言  
いまくること、とまかくやる気満々でというわけには  
いかないけれど、スイッチを入れるべく頑張りました。

そして今、ある程度の日数が経って思うことは、受  
け入れることから始まるんだな—ということ。もうこ  
こにはいないんだな—、あの声は聞こえないんだな—。  
亡くなってしまったという事実を受け入れて受け入れ  
て前に進む。大げさではなく、私のやる気スイッチは  
そういうことでした。

そしてどうにか、看取ったということを受け入れる  
ことに専念した私は、今心穏やかに働いております(ホ  
ントかな…)

考えてみれば、そもそものぞみホームは利用者が一  
人からのスタートでした。だからというわけではあり  
ませんが、「その人らしさ」や「その人」のありのま  
まを受け入れるということがなんか自然にできました。  
利用者の在宅生活を支えるためには、なんでもあり  
だったな—。自宅に訪問したり、突然のお泊り利用  
にも対応したな—。そんなこんなで様々なことを受け  
入れアツという間に28年。この介護保険制度もいつ  
たいどうなっちゃうんだ、と思いますが、のぞみホー  
ムは今まで通り、のぞみホームの利用者たちが教えて  
くれた「その人らしさ」という事を忘れずにお年寄り  
と生活していきたいと思っています。

なお、のぞみホームの諸々は「のぞみホームの静か  
な力」をひもとく事をお勧め致します。寄稿文を寄せ  
てくださった鈴木節子さんの写真も載せてまーす。

(のぞみホーム 奥山 久美子)



電子書籍になった  
のぞみホームの  
静かな力  
AmazonKindleにて  
好評配信中!



## こんな場所もあるんだね！

鈴木 節子

「のぞみホーム」との関わりは、2000年の介護保険制度スタートの半年ほど前からです。

この制度に則った施設の改修は、建築士の私にとって初体験でしたが、相談した行政側も学びながらの対応で、それぞれが手探り状態でした。その後、何度かの増改築・リフォームに立ち会いましたが、打合せをしても、奥山さんの揺るぎない信念が静かに伝わってきて、何とか要望に応えねば…と悪戦苦闘してしまふのでした。

半世紀も前(高校時代)のことですが、近くにできた特別養護老人ホームで2年間ほどボランティア活動をしていました。人里離れた林の中のコンクリートの建物で、お年寄りは大部屋で皆ベッドに寝かされているだけ…そんな暗いイメージから「両親には絶対入居してもらいたくない」と常々考えておりましたが、「のぞみホーム」に出会ってからは、「こんな《理想郷》もあるんだねえ！いや、できるんだねえ！」と考えを改めました。

縁あって私の両親もお世話になり、スタッフの皆さんと一緒に看取ることができ、感謝の念でいっぱいです。娘にとってこれ以上の幸せはありません。その後「これからは地域の人たちと一緒にのぞみホームを応援しよう！」と思っていたのですが…気が付けば、何もやっていないのです。今のうちにやれることをやり、次は自分たちがお世話になりたいです。(ペコリ)



## 手芸クラブ

おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごします

手芸好きが集まり、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごします。どなたでも、手芸の好きな方、おしゃべりだけでも結構です。是非参加してみてください。

**活動日** 毎月第3水曜日 9:30~



# 活動紹介 みんなのハウス

のぞみホームでは、いろいろな団体やサークル活動に使えるお部屋を用意しています。その名も「お貸ししますルーム」！存在は知っていても、どんな活動に利用されているのかご存知ない方も多いのでは？今回は、みんなのハウスで活動しているいくつかのグループをご紹介します！



## 手仕事の会

縫い物をしながら脳をチクチクと刺激する

手提げ、アクセサリー、洋服作りや、着物、帯、手持ちの布をリメイクなど。手仕事が好きな人、教えたり、教えてもらいながら物作りをしませんか。

**活動日** 毎月第2月曜日 9:30~15:00頃



## 壬生町手話サークル たんぽぽ

手話は目で見る言葉です

手話は目で見る言葉です。コロナ禍で集まれないけど、今はオンライン等を活用しながら出来るだけ会員の顔を見る事で、お互いの繋がりが持てるようにすることを大切にしています。

**活動日** 毎月金曜日（祝日・第5金曜日は休み）



## 壬生町点訳グループ ゆうがお

町広報の点訳・点訳本作成をしています

コロナの影響で活動が制限されていますが、みんなのハウスが利用できてありがたく思っています。毎月の活動を通して、会員のレベルアップと親睦を深めています。

**活動日** 毎月第1・3土曜日

## お貸ししますルーム

- ・1時間 500円
- ・冷暖房使用時は1時間 600円
- ・ごみは持ち帰る。
- ・前もって利用の予約をする。

『お貸ししますルーム』の利用料は、みんなのハウスの消耗品費・維持管理費になります。いろいろな団体の集まりやサークル活動に使ってください。



## ギタースタジオ119 壬生教室

ギターを通して音楽の楽しさをシェアします！

こんにちは、日光市でギター教室を開いている野口さとしと申します。縁あって、のぞみホームさんで壬生教室として活動しています。ギターは手軽に始められて、いろんなジャンルの音楽を楽しめます。一人でも演奏できますし、あらゆる楽器とセッションできます。そして音楽の楽しさを多くの方々に体験していただくと嬉しいです。ご興味ございましたら、ぜひお問い合わせください。よろしくお祈りします。

**活動日** 毎月木曜日（月3回） 14:00~

## お茶会のぞみ



ご近所さんの居場所作り

お茶を飲みながら、大きな声で歌ったり、おしゃべりしたり、聞いてもらったり、息抜きの時間です。

**活動日** 毎月第1・第3月曜日 10:00~12:00

## のぞみホームを(Fight!) 応援する会 応援する会活動報告

毎週金曜日9時から大体1時間、応援する会の作業場にて、男性会員が軽トラで集めてきたペットボトルを無言で（おしゃべりすると数がわかんなくなるから）1本ずつ町指定の網に入れていきます。150本になったらそれは終了。また別の網に150本という具合にペットボトルがなくなるまで作業します。袋は大体25袋から30袋になるでしょうか。1本1円150本集めて150円。ムムム。ですが年間にすればそれなりに貯まります。貯まった報奨金は全額のだぞみホームへ寄付。寄付金は「みんなのハウス」のエレベーターの保守点検費用やら餅つき大会の費用に使われています。

そして毎週みんなの顔が見られてお互いに安否の確認。今日も元気でよかった。現在8名で活動中。山のようにあったペットボトルがきれいに無くなっていくのは達成感がありますよ。（参加者募集中！）

